

令和2年1月27日

課名：人づくり・県民生活部文化振興課
直通：092-643-3346
内線：2839
担当：柳原

新・福岡県立美術館の建設地の決定について

- 1月16日、新・福岡県立美術館建設地選定委員会から報告書が提出されました。この報告書を踏まえ、平成29年、「新・福岡県立美術館基本構想検討委員会報告」で示された3つの立地要件（※）や新・福岡県立美術館に期待される県民の芸術文化の拠点、まちづくり、地域活性化の拠点、観光の拠点としての役割、解決すべき課題について総合的に検討を行った結果、新・福岡県立美術館の建設地を「大濠公園南側にある福岡武道館及び日本庭園の一部を再整備した用地」に決定しました。

（※）「新・福岡県立美術館基本構想検討委員会報告」（H29年3月）で示された3つの立地要件

- ① 交通至便で人が集まりやすいこと
- ② 他の文化施設等との連携による相乗効果を生み出すこと
- ③ 内外の人々に対する福岡の魅力が倍增できること

- 理由は、以下のとおりです。
- ・ 大濠公園は交通至便で人が集まりやすく、本県を代表する風光明媚な都市公園として高い知名度を有している。
 - ・ 県と福岡市が共同で策定した「セントラルパーク構想」では、大濠公園と舞鶴公園を歴史・芸術文化・観光の発信拠点として一体的に活用し、公園そのものが広大なミュージアム空間となって、国内外から訪れる人々に感動を与えることを目指している。
 - ・ 今回、大濠公園に新・福岡県立美術館が設置されることにより、福岡市美術館が近接することとなり、国内有数の美術館エリアが誕生する。
 - ・ 大濠公園にある日本庭園は、二条城やポストン美術館の日本庭園を手掛けた日本を代表する造園家の中根金作氏が設計した大変すばらしい庭園であり、庭園と一体的に整備することで、日本庭園の良さも十分活かした魅力ある美術館とすることができる。
 - ・ これらを通じて、国内外から多くの観光客が訪れる大濠公園の魅力がより一層高まり、県と福岡市が進めるセントラルパークとしての機能と魅力を高めることが期待される。
- 今後は、新しい県立美術館が、本県の新たな顔となり、国内外に誇れる素晴らしい美術館となりますよう、しっかり事業を進めてまいります。

大濠公園南側（福岡武道館及び日本庭園の一部）

